
VI. 調査結果のまとめ

以下に、このアンケート調査の結果をまとめます。前期の計画である「第2次上尾市地域福祉計画及び第5次上尾市地域福祉活動計画」における9つの取り組みについて、アンケートにご回答した皆さまがどのように評価しているか、という視点となっています。

(9つの取り組みに関する問は、市民アンケートの問37、福祉関係団体アンケートの問9、民生委員・児童委員アンケートの問13に対応しています。)

また、新型コロナウイルス問題についてうかがった結果についてもまとめます。

■<1. 福祉サービスの利用支援>

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第2位、満足度は第1位となっており、共に高い順位となっています。福祉関係団体アンケートでは、この取り組みの期待度は第2位、取組度は第1位となっており、また、民生委員・児童委員アンケートでは、期待度は第1位、取組度は第1位となっており、市民アンケートとほぼ同様となっています。

市民アンケートでは、あなたやあなたの家族は、どの福祉サービスを利用しているかについては、「高齢者支援に関するサービス」が最も高く、前回調査と比べると、3.6ポイント増えています。高齢者が安心して暮らすために必要なものについては、「在宅福祉サービスの充実」が5割強と最も高くなっています。

障害者が生きがいをもって暮らすために必要なものについては、「在宅福祉サービスの充実」が5割弱と、第2位になっています。

子どもが健やかに育つために必要なものについては、「安心して遊べる場所の充実」が6割半ばと最も高くなっています。

地域の課題や問題点については、「福祉保健サービスについて知らない」が3割弱と、第3位になっています。

地域でのより豊かな暮らしのために必要なものについては、「必要な情報を入手できる体制の整備」が4割強と最も高くなっています。次いで「支援が必要な人への支援」が3割半ばとなっています。

保健・福祉の情報で充実してほしいと思うものについては、「高齢者や障害者サービスの情報」が5割弱と最も高くなっています。しかしながら、年代別にみると、50歳未満では「子育てについての情報」、50～59歳と70歳以上では「高齢者や障害者サービスの情報」、60～69歳では「健康づくりに関する情報」が最も高くなっています。

福祉サービスに関する情報の入手先については、「市の広報紙、チラシなど」が5割半ばと最も高くなっています。前回調査と比べると、「入手していない」は2割強と、ほぼ同様の結果となっています。また、「インターネット」と「自治会・町内会・区会や老人クラブなど」は増えています。

福祉関係団体アンケートでは、すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なものについては、「必要な情報を入手できる体制の整備」が5割半ばと最も高くなっています。

また、民生委員・児童委員アンケートでも、「必要な情報を入手できる体制の整備」が5割強と高く、第3位になっています。

■<2. 支援をつなぐ仕組みづくり>

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第4位、満足度は第5位となっています。また、福祉関係団体アンケートでは、期待度は第3位、取組度は第4位となっています。一方、民生委員・児童委員アンケートでは、この取り組みの期待度は第2位、取組度は第2位となっており、重要な項目となっています。

市民アンケートでは、地域でのより豊かな暮らしのために必要なものについては、「日常生活に関する身近な相談窓口の整備」がほぼ3割と、第4位になっています。

不安や悩み事の相談先については、「家族・親戚」や「友人・知人」を除くと、「市職員・市の相談機関」が約2割弱と最も高くなっています。

上尾市社会福祉協議会に対して期待する活動や支援については、「気軽に相談できる福祉相談窓口の充実」が4割半ばと最も高くなっています。

高齢者が安心して暮らすために必要なものについては、「身近な相談窓口の整備」が3割半ばと、第3位になっています。

障害者が生きがいをもって暮らすために必要なものについては、「働く場の整備」が5割半ばと最も高くなっています。

民生委員・児童委員アンケートでは、すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なものについては、「日常生活に関する身近な相談窓口の整備」が6割弱と最も高く、次いで「支援が必要な人への支援」が5割半ばとなっています。

福祉関係団体アンケートでも、「日常生活に関する身近な相談窓口の整備」が5割半ばと、第2位になっています。

さらに、福祉関係団体アンケートでは、「困っていることを相談できない人がいる」「地域から孤立している人がいる」が2割強となっています。また、民生委員・児童委員アンケートでも、「困っていることを相談できない人がいる」が2割弱、「地域から孤立している人がいる」が3割弱となっています。

■<3. さまざまな団体などによる支え合いの仕組みづくり>

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第6位、満足度は第6位となっています。

福祉関係団体アンケートと民生委員・児童委員アンケートでは、この取り組みの期待度と取組度は市民アンケートと同程度となっています。

市民アンケートでは、地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために重要なことについては、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が3割半ばと最も高くなっています。次いで「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が3割強、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」が2割強となっています。年代別に見ると、70歳未満では「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」、70歳以上では、「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が最も高くなっています。

福祉関係団体アンケートでは、福祉関係団体が市役所・社会福祉協議会に望むことについては、「活動上必要な情報の提供」が5割半ばと最も高くなっています。次いで「団体や活動についてのPR」と「経済的支援（活動資金など）」が4割弱となっています。

■<4. 誰もが外出しやすい環境づくり>

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第3位、満足度は第8位となっています。高い重要度に対して、満足度がやや低く、比較的優先的に取り組むべき項目であると考えられます。

一方、福祉関係団体アンケートでは、この取り組みの期待度は第8位、取組度は第9位、民生委員・児童委員アンケートでは、期待度は第7位、取組度は第9位となっています。

市民アンケートでは、ふだん買い物（日常の食品などの購入）や通院、公共施設などを利用する際の移動手段について、不便だと感じることは、前回調査と比べると、「ない」が10.4ポイント増え、6割半ばとなっています。

不便だと感じることは、バスが少ない、バスの利便性が悪い、などの意見が多くなっています。その他、買い物、病院、公共施設等が遠い、駐輪場、駐車場が少ない、雨の日に不便と感じる、バスが時間通りに来ないなどの意見も比較的多くなっています。

地域でのより豊かな暮らしのために必要なものについては、「バスなどの公共交通手段の整備」がほぼ3割と、第3位になっています。そのほか、「買い物がしやすい環境づくり」が2割強、「公園や緑地などの自然環境の整備」「道路や建物のバリアフリー整備」が2割弱となっています。

福祉関係団体アンケートでは、すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なものについては、「道路や建物のバリアフリー整備」「バスなどの公共交通手段の整備」が4割弱となっています。

民生委員・児童委員アンケートでも、「バスなどの公共交通手段の整備」が4割弱、「買い物がしやすい環境づくり」が3割半ば、「道路や建物のバリアフリー整備」が3割強、となっています。

■<5. 地域における防災機能の強化>

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第1位、満足度は第9位となっています。最も高い重要度に対して、満足度が最も低くなっており、優先的に取り組むべき項目と考えられます。

一方、福祉関係団体アンケートでは、この取り組みの期待度は第1位、取組度は第3位となっており、また、民生委員・児童委員アンケートでは、期待度は第6位、取組度は第8位となっています。

市民アンケートでは、地域の課題や問題点については、「緊急時、災害時の対応体制がわからない」が4割強と最も高くなっています。

住んでいる地域のなかで安心して暮らしていくために、地域にある組織や団体に対して期待する活動については、「緊急事態が起きたときの対応」がほぼ7割と最も高くなっています。次いで「交通安全や防災・防犯などの活動」「子どもや高齢者、障害者に対する手助け」が4割弱となっています。上位の3項目は、前回調査と変わっていません。

地域の防災活動への参加状況については、参加していない人が7割半ばとなっています。年代別にみると、60歳未満で高く、8割以上となっています。

地域の自主防災組織への参加状況については、参加していない人が5割弱となっています。

地域の防災活動と自主防災組織への参加状況は、前回調査とほぼ同様の結果となっています。

地域の自主防災組織への参加意向については、「わからない」がほぼ5割と最も高くなっています。

災害時に住民同士が協力し合えるために必要なことについては、「一人で避難できない高齢者などのそれぞれの支援計画を地域のみんで考える」がほぼ5割と最も高くなっています。

福祉関係団体アンケートでは、すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なものについては、「災害時における体制の整備」が5割強と、第4位になっています。

■<6. 地域における見守り・声かけによる安全の確保>

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第5位、満足度は第4位となっています。福祉関係団体アンケートでは、この取り組みの期待度は第4位、取組度は第6位となっており、また、民生委員・児童委員アンケートでは、期待度は第3位、取組度は第4位となっています。

市民アンケートでは、地域の課題（ひとり暮らし高齢者の見守り、子どもへの虐待、孤立死など）を解決するにあたって、支え合い、助け合いが必要だと思うかについては、「とても必要だと思う」と「ある程度必要だと思う」を合わせた『必要だと思う（計）』が9割を超えおり、前回調査とほぼ同様になっています。

子どもが健やかに育つために必要なものについては、「地域での声かけ・見守り活動の実施」が5割強と、第2位になっています。

地域の支え合いや孤独死の防止などのために、支援者が必要な個人情報を共有することについては、「必要であれば共有してもよい」が6割強と最も高く、「あまり共有したくない」が2割弱となっています。年代別にみると、40歳未満の若い年代では「あまり共有したくない」の割合が比較的高く、3割以上となっています。

福祉関係事業所/福祉関係団体/民生委員・児童委員アンケートでは、個人情報保護法下での情報共有の難しさについての意見が上がっています。

民生委員・児童委員アンケートでは、民生委員・児童委員活動のなかで、大変・困難だと感じることについては、「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」「なり手が不足している」「担当地区で孤立死や、消費者被害などの事件が起こらないか心配になる」がほぼ5割と、上位3項目になっています。

上尾市社会福祉協議会の13支部で実施している「あったか見守りサービス事業」は、地域の中で浸透してきていると思うかについては、「浸透してきている」と「徐々に浸透してきていると思う」の合計が2割半ばにとどまっており、一方、「どちらともいえない」が3割弱、「あまり浸透しているとは思わない」がほぼ2割となっています。

十分浸透していないと思う理由としては、PRが不足している、という意見が多くなっています。

■<7. 隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり>

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第8位、満足度は第2位となっています。福祉関係団体アンケートでは、この取り組みの期待度は第6位、取組度は第2位となっており、また、民生委員・児童委員アンケートでは、期待度は第4位、取組度は第3位となっています。

上記のように、市民の満足度は高くなっている一方、以下のように、地域福祉への関心や隣近所への結びつきについての項目は、前回調査と比べてほぼ同様の結果となっています。

市民アンケートでは、「地域福祉」という言葉の認識については、「聞いたことはあるが、内容まで知らなかった」が5割半ばとなっており、前回調査と比べると、ほぼ同様の結果となっています。年代別にみると、70歳以上では「内容まで知っていた」が2割を超え比較的高くなっており、70歳未満では「知らなかった」が3割を超えています。

地域の課題への関心度については、「とても関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『関心がある(計)』が7割弱となっており、前回調査とほぼ同様となっています。

身近な地域の人に対して「できる」手助けや支援については、「できる」で最も高い項目は、「安否確認の声かけ」、次いで「家の前などの掃除」「緊急時の手助け」となっています。前回調査と比べると、すべての項目で「できない」が増えている状況がみえます。ただし、「緊急時の手助け」と「防犯のための巡回」以外の項目では、身近な地域の人から「受けない」手助けや支援の割合より「できる」手助けや支援の割合が高くなっています。

近所付き合いについては、前回調査と比べると、「家族ぐるみのもとても親しい付き合い」と「ある程度親しい付き合い」の合計が5ポイント減り、その結果、「会えばあいさつする程度の付き合いである」が増えています。年代別にみると、50歳未満の若い年代では「ほとんど(もしくはまったく)付き合いはない」の割合が比較的高くなっています。

■<8. 地域福祉活動の担い手の育成>

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第9位、満足度は第3位となっています。福祉関係団体アンケートでは、この取り組みの期待度は第7位、取組度は第7位となっており、また、民生委員・児童委員アンケートでは、期待度は第9位、取組度は第6位となっています。

上記のように、市民の満足度は比較的高くなっている一方、以下のように、地域活動への参加についての項目は、前回調査と比べてほぼ同様の結果となっています。

市民アンケートでは、地域活動等への参加状況については、「現在、継続的に参加している」「たまに、参加することがある」「参加したことはあるが、現在はほとんど参加していない」を合わせた『参加したことがある(計)』は3割を超えています。前回と今回の調査では「取り組んでいますか」と「参加していますか」という質問の語句の違いがあります。これが回答に影響していないとすれば、今回の地域活動等への参加状況の割合は、前回と同様となっています。

今後の地域活動等への参加意向については、「機会があれば、参加してもよい」が4割強と最も高くなっています。年代別にみると、70歳未満では「機会があれば、参加してもよい」の割合が高く、4割以上となっています。

地域活動等に参加していない理由については、「勤務などの都合で機会がないから」が3割半ばと最も高く、次いで「時間がないから」が3割弱となっています。年代別にみると、18～39歳では「時間がないから」、40～69歳では「勤務などの都合で機会がないから」、70歳以上では「体調がすぐれないから」が最も高くなっています。

一方、「参加方法がわからないから」が2割強、「一緒に活動する仲間がないから」が1割半ばとなっています。

活動・参加の条件については、「活動時間や曜日が自由」「気軽に参加できる」「身近なところで活動できる」が上位3項目になっています。年代別にみると、18～39歳と70～79歳では「気軽に参加できる」、40～69歳では「活動時間や曜日が自由」、80歳以上では「身体的負担が少ない」が最も高くなっています。

趣味や特技については、「読書、音楽鑑賞など」「スポーツ、スポーツ指導など」「農業、園芸など」が上位3項目になっています。そのほかにも、市には様々な趣味や特技をお持ちの方がいます。

福祉関係事業所アンケートでは、地域福祉活動を推進する上で必要とする支援については、「補助金など資金面での支援」が5割弱と最も高く、次いで「他団体・組織との交流などの連携」が4割強となっています。

福祉関係団体アンケートでは、活動に一回だけでも気軽に参加してもらうことについては、「活動の内容によっては、一回きりの参加があっても良い」がほぼ4割と最も高くなっています。また、前回調査と比べると、「活動の内容によっては、一回きりの参加があっても良い」と「一回きりでもよいので、参加してもらえると助かる」の合計が15.0ポイント増え、ほぼ7割となっています。

活動を行う上で困っていることについては、上位の5項目は、前回調査と変わっていません。（「メンバーの高齢化」「新しいメンバーが入らない」「リーダー（後継者）が育たない」「活動のマンネリ化」「支援を必要とする人の情報が得にくい」）しかし、前回調査と比べて「メンバーの高齢化」が13.7ポイント増え、7割強となっており、「新しいメンバーが入らない」が10.7ポイント増え、6割弱、さらに「リーダー（後継者）が育たない」が6.3ポイント増え、5割弱となっています。

民生委員・児童委員アンケートでは、民生委員・児童委員活動のなかで、大変・困難だと感じることについては、「なり手が不足している」がほぼ5割と最も高くなっています。

■＜9. 活動団体への支援＞

市民アンケートでは、この取り組みの重要度は第7位、満足度は第7位となっています。福祉関係団体アンケートでは、この取り組みの期待度は第9位、取組度は第8位となっており、また、民生委員・児童委員アンケートでは、期待度は第8位、取組度は第7位となっています。

市民アンケートでは、今後参加してみたい地域活動やボランティア活動については、「地域を元気にする活動」が3割半ばと最も高く、次いで「特技や趣味を活かした交流活動」「周辺環境を整備する活動」が3割強となっています。

趣味や特技についてうかがったところ、市には、さまざまな趣味や特技をお持ちの方がいます。地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために重要なことについては、「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」が3割半ばと最も高く、次いで「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が3割強、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」が2割強となっています。

福祉関係団体アンケートでは、地域の問題点や課題については、「隣近所との交流が少ない」が5割弱と最も高く、次いで「世代間の交流が少ない」も5割弱となっています。

団体が活動をしていく上で、市役所・社会福祉協議会に望むことについては、「活動上必要な情報の提供」が5割半ばと最も高く、次いで「団体や活動についてのPR」「経済的支援（活動資金など）」が4割弱となっています。ほかに「リーダーの養成支援」「会員募集の支援」がほぼ3割、「活動場所の提供」が2割半ばとなっています。

民生委員・児童委員アンケートでも、地域の問題点や課題については、「隣近所との交流が少ない」が5割半ばと最も高く、次いで「世代間の交流が少ない」が4割半ばとなっています。

すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために必要なものについては、「地域の人が交流できる場の整備」が5割強と、第4位となっています。

■＜新型コロナウイルス問題＞

市民アンケートでは、新型コロナウイルス問題に関連しては、困ったことがあった人がほぼ4割となっています。

新型コロナウイルス問題に関連して困ったこととしては、「気持ちが落ち込んだ」が5割強と最も高く、次いで「体力が低下した」が3割強、「仕事や収入が減った」が2割半ばとなっています。そのほか、回答率は高くありませんが、福祉による支えが必要な項目を選択した方もいました。

市民アンケートにおける、新型コロナウイルス問題に関連して心配事や気になることについての自由記述で、以下が比較的多かった意見です。

- ・感染が怖い。
- ・PCR 検査体制整備の希望。
- ・感染が終息してほしい。
- ・経済的心配。
- ・感染関連の情報の充実。
- ・この生活がいつまで続くかの不安。
- ・もし感染したときの心配（ひとり暮らし、受け入れ体制など）。

民生委員・児童委員アンケートにおける、新型コロナウイルス問題の発生に関連して、民生委員・児童委員の活動中に起こった問題や課題についての自由記述で、以下が比較的多かった意見です。

- ・訪問活動を控えるように言われているので様子をあまりうかがえない。
- ・訪問活動を控えるよう言われたが、心配な人には電話、手紙、注意して訪問など工夫をして見守っている。
- ・どのように訪問したらよいか困った。
- ・訪問先から来ないでほしいと言われた。
- ・訪問先の人がマスクをしておらず困った。

民生委員・児童委員アンケートにおける、新型コロナウイルス問題の発生に関連して、民生委員・児童委員の活動中に、困った人を見たり聞いたりしたかについての自由記述で、以下が比較的多かった意見です。

- ・外出を避け、孤立している人、ストレスを溜めている人がいた。
- ・外出を避けていることによる体力低下。
- ・新しい生活様式に対応できない人がいる。

資料編 使用した調査票

1. 市民

■ 地域福祉って何？

病気...子育て...介護...
 あなたは、心だんの生活の中で、不安を感じたり困ったりすることがありませんか。
 こういった不安や困りごとは、福祉の専門の人たちの協力を得て解決できることがある
 一方で、まわりの人の少しの手助けで解決できることも少なくありません。
 同じ地域で暮らす人や地域のボランティア、福祉組織、行政がつながりあって、みんな
 困っている人を支え、住みなれた地域で安心して暮らせるようにするための取り組み、
 それが「地域福祉」です。
 地域福祉計画・地域福祉活動計画がめざす社会を「地域共生社会」と呼んでいます。
 「地域共生社会」とは、
 若い人も高齢の人も障害のある人も、同じ地域で暮らすみんなが、自分ができることを
 行ってお互いに支え合い、生きがいを持って、元気に暮らしている社会です。
 そして、地域で暮らす人や地域のボランティア、福祉組織、行政がつながりあい、自分の
 こととして、一人ひとりの暮らしと生きがいをともにつくっていく社会です。

【地域福祉のイメージ】



上尾市の地域福祉を進めるためには？

地域のことや、日ごろ感じる生活の課題などを一番よく知っている、
 地域の皆様の参加と協力が不可欠となります。

**市民参加の一環として、市民アンケートへのご協力を
 よろしくお願ひします。**

第3次上尾市地域福祉計画 及び 第6次上尾市地域福祉活動計画 策定のための市民アンケート ご協力のお願い

市民の皆様には日ごろから地域福祉の向上にご協力いただき、ありがとうございます。
 上尾市及び上尾市社会福祉協議会*では、誰もがつながりあって安心して暮らせるまちづくりの
 ため、市民、関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのでき
 る仕組みづくりを推進するため「第3次上尾市地域福祉計画」及び「第6次上尾市地域福祉活動
 計画」を策定します。「地域福祉計画」は地域福祉を推進していくための理念や仕組みをつくる計画
 であり、また、「地域福祉活動計画」は、より具体的な地域福祉活動の内容を位置付ける計画です。
 市と社会福祉協議会が一体となって2つの計画を合同で策定し、上尾市の地域福祉を推進します。

この市民アンケートは、18歳以上の市民3,000人を対象に無作為抽出し、皆様の福祉に對す
 の意識や地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、
 計画を策定するための基礎資料として実施するものです。

また、この市民アンケートに際しましてはプライバシーの保護に万全を期しておりますので、
 趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年10月

上尾市・上尾市社会福祉協議会

ご記入にあたってのお願い

- 調査票には、お名前・ご住所のご記入は必要ありません。
- ご記入は、ご本人にお願いいたします。ご本人のご記入が困難な場合は、ご家族の方などが
 ご本人のお考えをお聞きの上、またはご意向に沿ったかたちで、代理でご記入をお願いいた
 します。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、「その他」を回答した場合
 には、具体的にその内容を記入ください。
- なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方に迷惑をおかけ
 するようないことは一切ございません。思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。
- ご記入いただいた調査票は、**11月9日(月)までに、同封の封筒に入れて(切手を貼らずに)
 投函してください。**ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

上尾市役所 健康福祉部 福祉総務課 電話：048-775-5118 (直通)

※社会福祉協議会とは…

地域福祉を推進する中核的な団体として、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを地
 域住民、ボランティア、社会福祉施設・団体、民生委員・児童委員、行政などの関係者と連携しなが
 ら推進する民間の非営利団体です。

問13 あなたは、身近な地域の人に対して、どのような手助けや支援ができていると思いますか。
(各項目の番号にひとつだけ○)

項目	できる	できる	できるところ	できない
① 安否確認の声かけ	1	2	3	
② 趣味などの話し相手	1	2	3	
③ 相談相手	1	2	3	
④ 買い物の手伝い	1	2	3	
⑤ ごみ出し	1	2	3	
⑥ 外出の手助け	1	2	3	
⑦ 家の前などの掃除	1	2	3	
⑧ 短時間の子どもの預かり	1	2	3	
⑨ 子どもの送り迎え	1	2	3	
⑩ 子どもの通学路の見守り	1	2	3	
⑪ 高齢者などの介護や介助	1	2	3	
⑫ 緊急時の手助け	1	2	3	
⑬ 防犯のための巡回	1	2	3	

問14 あなたは、どのような手助けや支援を受けたいですか。(各項目の番号にひとつだけ○)

項目	受けたい	受けたい	受けたい	必要はない	必要はない
① 安否確認の声かけ	1	2	3		
② 趣味などの話し相手	1	2	3		
③ 相談相手	1	2	3		
④ 買い物の手伝い	1	2	3		
⑤ ごみ出し	1	2	3		
⑥ 外出の手助け	1	2	3		
⑦ 家の前などの掃除	1	2	3		
⑧ 短時間の子どもの預かり	1	2	3		
⑨ 子どもの送り迎え	1	2	3		
⑩ 子どもの通学路の見守り	1	2	3		
⑪ 高齢者などの介護や介助	1	2	3		
⑫ 緊急時の手助け	1	2	3		
⑬ 防犯のための巡回	1	2	3		

問15 あなたや、あなたの住んでいる身近な地域の中で課題や問題と思うものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

1 あいさつをしない人が多い
2 緊急時、災害時の対応体制がわからない
3 犯罪の増加
4 交通マナーの乱れ
5 ごみ出しやごみ捨てマナーの乱れ
6 地域での子どもの見守りがされていない
7 地域での高齢者の見守りがされていない
8 子育てに悩んでいる人がいる / 子育てに悩んでいる
9 困っていることを相談できない人がいる / 困っていることを相談できない
10 子どもや高齢者、障害者に対する虐待を見聞きする / 虐待されている / 虐待してしまう
11 隣近所との交流が少ない
12 世代間の交流が少ない
13 地域の活動が不活発である
14 地域の中で気軽に集まれる場が少ない
15 地域から孤立している人がいる / 地域から孤立している気がする
16 障害に関する情報や障害のある人に対する理解が不足している
17 福祉保健サービスについて知らない
18 健康に対する意識が低い
19 生活に困っている人を見たり聞いたりする / 生活に困っている
20 特になし
21 その他 ()

問16 あなたは、地域の課題（ひとり暮らし高齢者の見守り、子どもへの虐待、孤立死など）を解決するにあたって、支え合い、助け合いが必要だと思いますか。(ひとつだけ○)

1 とても必要だと思う
2 ある程度必要だと思う
3 あまり必要だと思う
4 まったく必要だと思わない

問17 あなたは、地域の課題に関心をお持ちですか。(ひとつだけ○)

1 とても関心がある
2 ある程度関心がある
3 あまり関心がない
4 まったく関心がない

問18 あなたは、地域での支え合いや孤立死の防止などのために、自治会・町内会・区会を単位とした支援者が必要な個人情報を共有することについてどのように思いますか。(ひとつだけ○)

1 積極的に共有すべき
2 必要であれば共有してもよい
3 あまり共有したくない
4 一切共有すべきではない
5 わからない

問19 あなたが不安に感じていることや、悩み事を相談する場合、誰に相談しますか。もしくは、相談したいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-------------|------------|----------------------|
| 1 家族・親戚 | 2 友人・知人 | 3 近所の人や自治会・町内会・区会の役員 |
| 4 民生委員・児童委員 | 5 職場の上司・同僚 | 6 市職員・市の相談機関 |
| 7 国や県の相談機関 | 8 社会福祉協議会 | 9 地域包括支援センター |
| 10 医師 | 11 介護支援専門員 | 12 いない |
| 13 その他 () | | |

Ⅲ. 地域活動・ボランティア活動（無償・有償）についてうかがいます

問20 あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動などに参加していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------|
| 1 現在、継続的に参加している | → 問 20-1 へ |
| 2 たまに、参加することがある | |
| 3 参加したことはあるが、現在はほとんど参加していない | → 問 20-2、20-3 へ |
| 4 参加したことはない | |
| 5 参加することかできない | |
| 6 参加するつもりはない | |

※問20で「1」「2」「3」を選んだ方にうかがいます

問20-1 どんな地域活動やボランティア活動をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 地域を元気にする活動 (自治会・町内会・区会での行事や交流活動など) |
| 2 子育てを支援する活動 (子育て交流会や児童の一時預かりなど) |
| 3 高齢者を支援する活動 (家事援助、話し相手、見守り、外出付き添いなど) |
| 4 障害のある人を支援する活動 (手話、点字、要約筆記、軽介助、外出付き添いなど) |
| 5 児童の健全育成の活動 (スポーツの指導、子ども会の活動など) |
| 6 特技や趣味を活かした交流活動 (手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など) |
| 7 周辺環境を整備する活動 (道路・公園の清掃、リサイクルなど) |
| 8 地域の安全を守る活動 (防犯パトロール、学童登下校見守りなど) |
| 9 災害時の支援などの活動 (物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど) |
| 10 その他 () |

※問20で「4」「5」「6」を選んだ方にうかがいます

問20-2 活動していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|-------------------|
| 1 自治会・町内会・区会などの組織に入っていないから | 2 勤務などの都合で機会がないから |
| 3 参加方法がわからないから | 4 時間がないから |
| 5 興味がでないから | 6 経済的な負担が大きいから |
| 7 家族の理解が得られないから | 8 体調がすぐれないから |
| 9 一緒に活動する仲間がないから | 10 わずらわしいから |
| 11 その他 () | |

※問20で「4」「5」「6」を選んだ方にうかがいます

問20-3 どのような条件であれば、活動・参加したいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 活動情報の提供がある | 2 友人などと一緒に参加できる |
| 3 身近なところで活動できる | 4 活動時間や曜日が自由 |
| 5 気軽に参加できる | 6 適切な指導者やリーダーがいる |
| 7 特技や知識が活かせる | 8 身体的な負担が少ない |
| 9 経済的な負担が少ない | 10 その他 () |

問21 あなたの趣味や特技を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------|
| 1 農業、園芸など |
| 2 大工、リフォーム作業など |
| 3 介護、看護など |
| 4 調理、うどん・そば打ちなど |
| 5 経理、会計など |
| 6 パソコン、インターネットなど |
| 7 デザイン、スケッチ、絵画・絵画鑑賞など |
| 8 書道、華道、俳句、川柳など |
| 9 楽器、カラオケなど |
| 10 読書、音楽鑑賞など |
| 11 学習指導など |
| 12 スポーツ、スポーツ指導など |
| 13 その他 () |
| 14 特になし |

問22 あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動などに、どの程度参加していきたいと考えていますか。(ひとつだけ○)

1 積極的に、参加していきたい	→ 問 22-1 へ
2 できるだけ参加していきたい	
3 機会があれば、参加してもよい	→ 問 23 へ
4 あまり参加したくない	
5 参加することができない	
6 参加するつもりはない	

※問 22 で「1」「2」「3」を選んだ方にうかがいます

問22-1 あなたが今後参加してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動は何ですか。(○は3つまで)

1 地域を元気にする活動 (自治会・町内会・区会での交流活動など))
2 子育てを支援する活動 (子育て交流会や児童の一時期かひのなど)	
3 高齢者を支援する活動 (家事援助、話し相手、見守り、外出付き添いなど)	
4 障害のある人を支援する活動 (手話、点字、要約筆記、軽介助、外出付き添いなど)	
5 児童の健全育成の活動 (スポーツの指導、子ども会の活動など)	
6 特技や趣味を活かした交流活動 (手芸、調理、農作業、スポーツ、外国語、パソコン、陶芸など)	
7 周辺環境を整備する活動 (道路・公園の清掃、リサイクルなど)	
8 地域の安全を守る活動 (防犯パトロールなど)	
9 災害時の支援などの活動 (物資の寄付、復興支援、災害時要援護者の見守りなど)	
10 その他 ()	

問23 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

1 地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする)
2 地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する	
3 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う	
4 ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する	
5 福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る	
6 困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する	
7 困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする	
8 介護やボランティア活動の方法などに関する研修を行う	
9 学校教育や社会教育での福祉教育を充実する	
10 その他 ()	

IV. 防災活動についてうかがいます

問24 あなたは日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(ひとつだけ○)

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

問25 あなたの世帯は地域の自主防災組織(自治会・町内会・区会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っていますか。(ひとつだけ○)

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

※問 25 で「2」または「3」を選んだ方にうかがいます

問25-1 今後、あなたの世帯は地域の自主防災組織に入りたいと思いますか。(ひとつだけ○)

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

問26 地震や火災などの災害時に住民同士が協力し合えるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1 一人で避難できない高齢者などのそれぞれの支援計画を地域のみんなで考える)
2 地域での自主防災組織づくり	
3 地域での定期的な防災訓練	
4 地域での勉強会	
5 福祉サービス事業者や行政との連携	
6 その他 ()	7 特にないと思う

V. 日常生活での交通手段についてうかがいます

問27 あなたは、ふだん買い物(日常の食品などの購入)や通院、公共施設などを利用する際に、どのような交通手段を利用しますか。(あてはまるものすべてに○)

1 徒歩	2 自転車)
3 自動車(施設の送迎車を含む)	4 鉄道	
5 バス(民間の路線バス)	6 バス(市内循環バス“ぐるっとくん”)	
7 タクシー(福祉タクシーを含む)	8 その他 ()	

問28 あなたは、ふだん買い物(日常の食品などの購入)や通院、公共施設などを利用する際の移動手段について、不便だと感じることがありますか。(ひとつだけ○)

1 ある	2 たまにある
3 ない	

※問 28 で「1」または「2」を選んだ方にうかがいます

問28-1 不便だと感じるのはどのようなことですか。ご自由にお書きください。

--

問29 あなたは、買い物をする際、店に行って直接購入する方法と、注文して届けてもらう方法（近くの商店からの宅配）のうち、どちらを選びますか。（ひとつだけ○）

- 1 店に行って購入する
- 2 注文して届けてもらう
- 3 その都度異なる

VI. 福祉サービスについてうかがいます

問30 あなたやあなたの家族は、どの福祉サービスを利用していますか（したことがありませんか）。（あてはまるものすべてに○）

- 1 高齢者支援に関するサービス
- 2 障害者支援に関するサービス
- 3 子育て支援に関するサービス
- 4 健康づくりに関するサービス
- 5 生活困難支援に関するサービス
- 6 その他（ ）
- 7 利用していない（したことがない）

問31 あなたは、ふだん福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 市の広報紙、チラシなど
- 2 社会福祉協議会などの広報紙、チラシなど
- 3 インターネット
- 4 新聞・テレビ・ラジオ
- 5 民生委員・児童委員
- 6 自治会・町内会・区会や老人クラブなど
- 7 友人・知人
- 8 家族・親戚
- 9 地域包括支援センター
- 10 ケアマネジャー、保健師などの保健福祉関係者
- 11 医師など医療関係者
- 12 その他（ ）
- 13 入手していない

問32 あなたは、保健・福祉について、どんな情報を充実してほしいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 健康づくりに関する情報
- 2 子育てについての情報
- 3 高齢者や障害者サービスの情報
- 4 介護サービスなどの情報
- 5 生活困難支援に関する情報
- 6 ボランティア活動についての情報
- 7 その他（ ）

VII. 社会福祉協議会についてうかがいます

問33 あなたは、「上尾市社会福祉協議会」を知っていますか。（ひとつだけ○）

- 1 知っている → 問 34、35 へ
- 2 知らない → 問 36 へ

※問 33 で「1」を選んだ方にうかがいます

問34 「上尾市社会福祉協議会」のことは何で知りましたか（あてはまるものすべてに○）

- 1 社会福祉協議会広報紙「あけお社協だより」
- 2 社協支部広報紙「支部だより」
- 3 ホームページ
- 4 関係機関（行政等）からの紹介
- 5 各種募金・社協会費の募集を通じて
- 6 その他（ ）

※問 33 で「1」を選んだ方にうかがいます

問35 上尾市社会福祉協議会の事業で、あなたが知っているものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 日赤募金・共同募金（赤い羽根、読本助けあい募金）
- 2 老人福祉センター「ことぶき荘」の運営・管理
- 3 安心・安全見守りネットワーク事業の実施
- 4 ボランティアセンター・ボランティアピュローの運営
- 5 ファミリー・サポート・センター事業の実施
- 6 リフト付車両の運行・貸出
- 7 手話通訳者の派遣
- 8 ケアプランの作成など
- 9 ホームヘルパーの派遣
- 10 地域活動支援センター「ふれあいハウス」の運営・管理
- 11 上尾市障害福祉サービス事業所「かしの木園」の運営・管理
- 12 上尾西地域福祉センター「ほほえみ」の運営・管理
- 13 日常生活自立支援事業（あんしんサポートなっつ）の実施
- 14 生活福祉資金・上尾市福祉資金の貸付
- 15 福祉機器のリサイクル及び貸し出し
- 16 要・準要保護児童生徒に対する遠足費などの援助
- 17 世帯個人会員加入
- 18 相談事業
- 19 あげお在宅福祉サービス

問36 あなたは、上尾市社会福祉協議会に対してどのような活動や支援を期待しますか。（○は3つまで。その中で最も重視する項目には◎をつけてください）

- 1 住民参加型在宅福祉サービスの充実
- 2 住民による見守りや支え合い活動への支援
- 3 共同募金と寄付文化の醸成
- 4 ボランティア活動と福祉教育の推進
- 5 災害ボランティア活動の担い手、推進の仕組みづくり
- 6 気軽に相談できる福祉相談窓口の充実
- 7 福祉サービスの利用支援（相談・支援）
- 8 福祉サービスに関する情報発信の充実
- 9 その他（ ）
- 10 特になし

Ⅷ. 上尾市と上尾市社会福祉協議会の取り組みについてうかがいます

問37 次の項目の現在の満足度と今後の重要度はどれにあたりますか。
(それぞれ○はひとつずつ)

目指すべき市の姿と具体的な内容	満足度			重要度						
	満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
福祉サービスが利用しやすい地域の実現										
福祉サービスの利用支援										
● 必要な福祉サービスが受けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● わかりやすい、適切な情報入手できる										
● 判断能力が不十分な人でも適切に制度やサービスが利用できる、権利が守られる										
支援をつなぐ仕組みづくり										
● 困っている人が気軽に相談できる場がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● 困ったときの相談窓口が周知されている										
● 仕事や生活に困っている人が支援を受けられる										
さまざまな団体などによる支え合いの仕組みづくり										
● 市民や団体が参加しやすい、活動しやすい環境がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● 福祉にかかわる団体が連携して、困っている人を支えている										
● 地域のボランティアが増え、育成されている										
誰もが快適に住み続けられる地域の実現										
誰もが外出しやすい環境づくり										
● 誰もが外出しやすい、利用しやすいまちづくりがすすまれている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● 市民が利用しやすい公共交通網が充実している										
● 高齢者や障害者の移動支援や外出支援、生活支援が充実している										
地域における防災機能の強化										
● 防災に関する情報提供が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● 自主防災組織の活動により、地域の防災力向上が図られている										
● 防災訓練への参加など、市民意識が醸成されている										
● 助けが必要な人が、緊急時に素早く避難できるような連携や体制づくりがすすまれている										
● 災害ボランティアが育成されている										

目指すべき市の姿と具体的な内容	満足度			重要度						
	満足している	ほぼ満足している	あまり満足していない	満足していない	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
誰もが快適に住み続けられる地域の実現 (続き)										
地域における見守り、声かけによる安全の確保										
● 高齢者や障害者世帯の見守り支援が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● 子育て家庭の孤立化防止、ひきこもり防止、虐待防止の取り組みが行われている										
● 悩みごとを抱えた人が気軽に相談できる場がある										
● 消費者被害の防止、地域の防犯活動が行われている										
誰もが役割を持つことができる地域の実現										
隣近所や地域力による福祉活動のきっかけづくり										
● 普段のあいさつや声かけが行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● 地域の行事へ積極的に参加している										
● 地域の活動が活発に行われている										
● 障害などの福祉に関する教育や啓発が行われている										
地域福祉活動の担い手の育成										
● みんなが気軽に取組める健康づくり活動やイベントが行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● 地域の活動やボランティア活動についての情報が提供されている										
● 地域の活動や健康づくり、ボランティア活動などに関わる人が増えている										
活動団体への支援										
● 高齢者や障害者、子育て中の人などが、生きがいや仲間づくりに気軽に集まれる場や機会がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
● 気軽に集まれる場や機会の情報が提供されている										

問38 地域での暮らしをより豊かにするために、どのようなことが必要だと考えますか。
(○は3つまで)

1 必要な情報入手できる体制の整備	2 日常生活に関する身近な相談窓口の整備
3 地域の人が交流できる場の整備	4 ネットワーク作り、見守り体制の整備
5 買い物しやすい環境づくり	6 ハスなどの公共交通手段の整備
7 支援が必要な人への支援	8 自主防災組織などの整備
9 災害時における体制の整備	10 道路や建物のバリアフリー整備
11 スポーツや文化教養活動の環境整備	12 公園や緑地などの自然環境の整備
13 その他 ()	

問39 高齢者が安心して暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。(○は3つまで)

1 在宅福祉サービスの充実	2 ホームヘルパーなどの福祉の人材の育成
3 地域での声かけ・見守り活動の実施	4 ボランティアや地域での人材の育成
5 身近な相談窓口の整備	6 介護予防に関する取り組みの充実
7 介護と医療の連携	8 病院など医療関係施設の整備
9 その他()	

問40 障害者が生きがいをもって暮らすためには、どのようなことが必要だと考えますか。(○は3つまで)

1 在宅福祉サービスの充実	2 地域で理解を深める
3 地域での声かけ・見守り活動の実施	4 身近な相談窓口の整備
5 働く場の整備	6 ボランティアや地域での人材の育成
7 その他()	

問41 子どもが健やかに育つためには、どのようなことが必要だと考えますか。(○は3つまで)

1 地域での声かけ・見守り活動の実施	2 要保護児童などに対する支援
3 安心して遊べる場所の充実	4 身近な相談窓口の整備
5 保育園・学童保育室の拡充	6 ボランティアや地域での人材の育成
7 その他()	

問42 あなたが住んでいる地域のなかで安心して暮らしていくには、地域にある組織や団体に対してどのような活動を期待していますか。(○は3つまで)

1 緊急事態が起きたときの対応	2 地域内における決まりごとの徹底
3 交通安全や防災・防犯などの活動	4 地域の道路や公園などの清掃活動
5 リサイクルや自然保護の活動	6 住民間トラブルの仲介・解決
7 子どもや高齢者、障害者に対する手助け	8 住民同士の交流イベントの提供
9 文化・スポーツなどのサークル活動	10 市役所・社会福祉協議会との連絡調整
11 その他()	12 特になし

IX. 新型コロナウイルス問題についてうかがいます

問43 あなたは、新型コロナウイルス問題に関連して、困ったことがありますか。(どちらかに○)

1 はい	2 いいえ
------	-------

※問43で「1 はい」を選んだ方にうかがいます

問44 それはどんなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

1 仕事や収入が減った	2 子どもをあずけられなかった
3 子どもが、十分に食事ができなかった	4 病気の高齢の親が病院に行けなかった
5 解雇された	6 子どもや家族にあたりそりようになった
7 気持ちが悪くなった	8 体力が低下した
9 その他()	

問45 あなたは、新型コロナウイルス問題に関連して、心配事や気になることがありますか。ご自由にお書きください。

自由記述

誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。

2. 福祉関係事業所

1. 貴事業者についてうかがいます

事業者の名称	
連絡先電話番号	
代表者名	調査票記載者名
職員数	() 名
運営年数	() 年

問1 貴事業者は、どの分野の業務を行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

A 高齢者福祉関係	1 在宅サービス関係	2 居宅介護支援関係
→	3 施設サービス関係	4 地域密着サービス関係
B 障害者福祉関係	5 その他 ()	7 障害児通所
→	6 障害福祉サービス通所(入所)事業所	9 特定相談支援事業所及び障害児相談支援事業所
C 児童福祉関係	10 その他 ()	12 子育て支援拠点
→	11 保育所(園)	13 その他 ()
D 上記以外分野	()	()

問2 貴事業者が所在する地区は次のどれですか。(ひとつだけ○)

1 上尾地区	2 平方地区	3 原市地区	4 大石地区
5 上平地区	6 大谷地区	7 原市団地	8 尾山台団地
9 西上尾第一団地	10 西上尾第二団地	11 分らない	

問3 貴事業者の運営形態はどれですか。(ひとつだけ○)

1 社会福祉法人	2 医療法人	3 NPO法人
4 株式会社など	5 その他 ()	

第3次上尾市地域福祉計画 及び 第6次上尾市地域福祉活動計画 策定のための事業者アンケート ご協力をお願いします

福祉関連施設の皆様には日ごろから地域福祉の向上にご協力いただき、ありがとうございます。上尾市及び上尾市社会福祉協議会では、誰もがつながりあって安心して暮らせるまちづくりのため、市民、関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを推進するため「第3次上尾市地域福祉計画」及び「第6次上尾市地域福祉活動計画」を策定します。「地域福祉計画」は地域福祉を推進していくための理念や仕組みをつくる計画であり、また、「地域福祉活動計画」は、より具体的な地域福祉活動の内容を位置付ける計画です。市と社会福祉協議会が一体となって2つの計画を合同で策定し、上尾市の地域福祉を推進します。

このアンケートは、福祉関係事業者を対象に、事業者の状況や地域の活動などに関するアンケート調査を実施させていただきます。調査の趣旨をご理解いただき、日頃の率直なご意見をお聞かせくださるよう、お願い申し上げます。

令和2年10月

上尾市・上尾市社会福祉協議会

ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、施設・事業者の代表の方もしくは、事業全体がお分かりになる方がご記入くださいますようお願いいたします。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、「その他」を回答した場合には、具体的にその内容をご記入ください。
- ご記入いただいた調査票は、11月9日(月)までに、同封の封筒に入れて(切手を貼らずに)投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

上尾市役所 健康福祉部 福祉総務課 電話：048-775-5118 (直通)

問4 貴事業者では、情報をどのように発信していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 市の広報紙 『広報あけお』
- 2 社会福祉協議会の広報紙 『あけお社協だより』
- 3 施設だよりなど PR・広報誌(紙)の発行・配布
(配布場所:)
- 4 ホームページ
- 5 家族や地域の人などを招いてイベントや見学会などの実施
- 6 その他 ()

II. 地域貢献、社会貢献や地域での活動についてうかがいます

問5 地域貢献、社会貢献や地域での活動で、現在実施している、実施予定である、今後必要だと思ふことを具体的に記入ください。

【記載例】

子ども・子育て	・不登校の子どもについての相談への対応。
障害(身体・知的・精神)	・障害者の就労の場の斡旋。

項目(複数回答)	該当する項目について具体的に書きください。(自由記述)
子ども・子育て	
障害 (身体・知的・精神)	
高齢・介護 (認知症、見守り)	
人権・家庭内暴力	
ゴミ・住環境	
地域活動・ボランティア活動	

道路・公園・公共施設	
健康・医療	
就労・経済的な事項	
防災・防犯・交通安全	
青年 (ニート・引きこもり)	
福祉に関する情報提供	

III. 他の団体・組織及び地域との連携についてうかがいます

問6 現在、行政や他の団体・組織との間で情報交換や連携を行っていますか。(ひとつだけ○)

- 1 行っている
- 2 行っていない
- 3 わからない

※問6で「1」に回答した事業者のうちかかいます

問6-1 情報交換や連携を行っている団体・組織はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1 市役所	2 社会福祉協議会	3 自治会・町内会・区会
4 地域包括支援センター	5 子ども会	6 当事者団体
7 民生委員・児童委員	8 保育所(園)・幼稚園	9 小学校・中学校・高校
10 大学・専門学校	11 PTA	12 NPO・ボランティアグループ
13 いきいきクラブ	14 商店会・商店街	15 介護・福祉施設
16 医療機関	17 保健所	18 警察・消防
19 弁護士・司法書士	20 企業	21 商工会
22 その他 ()		

問7 今後、行政や他の団体・組織との間で情報交換や連携を強めたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- 1 思う 2 思わない 3 わからない

※問7で「1」に回答した事業者にうかがいます

問7-1 特に情報交換や連携を強めたい団体・組織はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------------|
| 1 市役所 | 2 社会福祉協議会 | 3 自治会・町内会・区会 |
| 4 地域包括支援センター | 5 子ども会 | 6 当事者団体 |
| 7 民生委員・児童委員 | 8 保育所(園)・幼稚園 | 9 小学校・中学校・高校 |
| 10 大学・専門学校 | 11 PTA | 12 NPO・ボランティアグループ |
| 13 いきいきクラブ | 14 商店会・商店街 | 15 介護・福祉施設 |
| 16 医療機関 | 17 保健所 | 18 警察・消防 |
| 19 弁護士・司法書士 | 20 企業 | 21 商工会 |
| 22 その他() | | |

問8 最近、制度上のサービスでは解決できずに困っている問題・事例がありますか。(具体的に記入)

問8-1 問8で書かれた問題・事例に対して、他で同様な問題がおこった場合に、貴事業者として協力できることがありますらお書きください。(具体的に記入)

問9 他の団体・組織と連携・協働関係を築く際、連携できることはありませんか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 接点、交流の機会を増やす | 2 活動への理解を促進する |
| 3 財政的な問題を解消する | 4 制度的な問題を解消する |
| 5 その他() | 6 特に連携できることはない |

問10 貴事業者が地域福祉活動を推進するうえで必要とする支援はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------|
| 1 補助金など資金面での支援 |
| 2 研修制度など人材育成面での支援 |
| 3 活動場所の確保への支援 |
| 4 助言などの専門知識の支援 |
| 5 他団体・組織との交流などの連携 |
| 6 広報活動、ニーズの把握など情報についての支援 |
| 7 その他() |
| 8 特に支援は必要ない |

問11 貴事業者は、地域での支え合い活動の推進のために、自治会などの支援者が必要な個人情報を共有することについてどのように思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 積極的に共有すべき | 2 必要であれば共有してもよい |
| 3 あまり共有したくない | 4 一切共有すべきではない |
| 5 わからない | |

IV. 新型コロナウイルス問題についてうかがいます

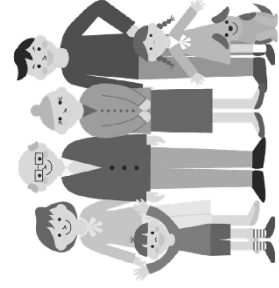
問12 新型コロナウイルス問題の発生に関連して、貴事業者の活動中に起こった問題や課題はありますか。それはどんなことですか。ご自由にお書きください。

問13 新型コロナウイルス問題の発生に関連して、行政に協力してほしいことや提案したいことがありますか。ご自由にお書きください。

自由記述

誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。



第3次上尾市地域福祉計画 及び 第6次上尾市地域福祉活動計画 策定のための関係団体アンケート ご協力をお願い

関係団体の皆様におかれましては、日ごろから地域福祉の向上に対しご協力をいただきましたき厚くお礼申し上げます。

上尾市及び上尾市社会福祉協議会では、誰もがつながりがあり安心して暮らせるまちづくりのため、市民、関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを推進するため「第3次上尾市地域福祉計画」及び「第6次上尾市地域福祉活動計画」を策定します。「地域福祉計画」は地域福祉を推進していくための理念や仕組みをつくる計画であり、また、「地域福祉活動計画」は、より具体的な地域福祉活動の内容を位置付ける計画です。市と社会福祉協議会が一体となって2つの計画を合同で策定し、上尾市の地域福祉を推進します。

つきましては、福祉関係団体を対象に、団体の状況や地域の活動などに関するアンケート調査を実施させていただきたいと思っております。なお、アンケート調査ご協力の後にヒアリング調査のご協力をお願いする場合がございます。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和2年10月

上尾市・上尾市社会福祉協議会

ご記入にあたってのお願い

○お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、「その他」を回答した場合には、具体的にその内容をご記入ください。

○なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないことは一切ございません。思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。

○ご記入いただいた調査票は、**11月9日(月)**までに、**同封の封筒に入れて(切手を貼らずに)**投函してください。ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

上尾市役所 健康福祉部 福祉総務課

電話：048-775-5118 (直通)

■ 貴団体の概要についてお書きください。

ふりがな	
団体の名称	
連絡先電話番号	
代表者名	調査票記載者名
会員数	() 名
活動年数	() 年 (例：サロン活動、異守り活動など)
主な活動内容	
主な活動拠点	(例：メンバーの自宅、市民センター、市役所など)

1. 貴団体の活動についてうかがいます

問1 貴団体では、活動を行う上で地域にある他の団体・機関などとの交流や連携、協力関係がありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 市役所 | 2 社会福祉協議会 |
| 3 自治会・町内会・区会 | 4 民生委員・児童委員 |
| 5 地域包括支援センター | 6 当事者団体* |
| 7 子ども会 | 8 保育所(園)・幼稚園 |
| 9 小学校・中学校・高校 | 10 大学・専門学校 |
| 11 PTA | 12 NPO・ボランティアグループ |
| 13 いきいきクラブ | 14 商店会・商店街 |
| 15 介護・福祉施設 | 16 医療機関 |
| 17 保健所 | 18 警察・消防 |
| 19 弁護士・司法書士 | 20 企業 |
| 21 商工会 | 22 その他() |
| 23 特になし | |

*地域の中には、高齢者、障害者、子ども、子育て中の方など様々な人が暮らししており、それぞれに悩みごとなどを抱えている方がいます。当事者団体は、同じ悩みや問題などを抱えている人が集まり、課題解決のための活動や、交流や連携を深めるための組織のことです。

295

※問1で「1」から「22」のいずれれかを選んだ団体にうかがいます

問1-1 交流や連携、協力関係があると回答した団体・機関などどのような関係がありますか。(具体的に記入)

--

3

問2 貴団体が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 活動のマンネリ化 | 2 新しいメンバーが入らない |
| 3 リーダー(後継者)が育たない | 4 市民に情報発信する場や機会が乏しい |
| 5 人々のニーズに合った活動ができていない | 6 支援を必要とする人の情報が得にくい |
| 7 他の団体と交流する機会が乏しい | 8 活動の場所(拠点)の確保が難しい |
| 9 活動資金が足りない | 10 メンバーの高齢化 |
| 11 その他() | 12 特に困ったことはない |

※問2で「1」から「11」のいずれれかを選んだ団体にうかがいます

問2-1 問2で挙げた課題解決のためには何が必要だと感じますか。(具体的に記入)

--

※問2で「1」から「11」のいずれれかを選んだ団体にうかがいます

問2-2 問2で挙げた課題解決のために、どのような機関・団体と連携したいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 市役所 | 2 社会福祉協議会 |
| 3 自治会・町内会・区会 | 4 民生委員・児童委員 |
| 5 地域包括支援センター | 6 当事者団体 |
| 7 子ども会 | 8 保育所(園)・幼稚園 |
| 9 小学校・中学校・高校 | 10 大学・専門学校 |
| 11 PTA | 12 NPO・ボランティアグループ |
| 13 いきいきクラブ | 14 商店会・商店街 |
| 15 介護・福祉施設 | 16 医療機関 |
| 17 保健所 | 18 警察・消防 |
| 19 弁護士・司法書士 | 20 企業 |
| 21 商工会 | 22 その他() |

4

問3 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 市の広報紙 『広報あげお』
- 2 社会福祉協議会の広報紙 『あげお社協たより』
- 3 ボランティアニュース
- 4 チラシやパンフレットの配布
(配布場所:)
- 5 ホームページ
- 6 メンバーなどによる口コミ
- 7 その他 ()

問4 貴団体では、団体の活動に必要な情報を主にどこから入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 知り合いを通して
- 2 市役所の窓口・掲示板
- 3 市の広報紙 『広報あげお』
- 4 市のホームページ
- 5 社会福祉協議会の窓口
- 6 社会福祉協議会の広報紙 『あげお社協たより』
- 7 社会福祉協議会のホームページ
- 8 民生委員・児童委員を通して
- 9 福祉サービスの事業所またはその職員
- 10 他団体を通して
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問5 市民の方が貴団体の活動に一回だけでも気軽に参加してもらうことについて、どう考えますか。(ひとつだけ○)

- 1 固定メンバーでの活動しが行えないため、そのような形は難しい
- 2 活動の内容によっては、一回きりの参加があっても良い
(例えばどのような内容:)
- 3 一回きりでもよいので、参加してもらえると助かる
(例えばどのような内容:)
- 4 その他 ()

II. 地域についてうかがいます

問6 活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 あいざつをしない人が多い
- 2 緊急時、災害時の対応体制がわからない
- 3 犯罪の増加
- 4 交通マナーの乱れ
- 5 ごみ出しやごみ捨てマナーの乱れ
- 6 地域での子どもの見守りがされていない
- 7 地域での高齢者の見守りがされていない
- 8 子育てに悩んでいる人がいる
- 9 困っていることを相談できない人がいる
- 10 子どもや高齢者、障害者に対する虐待を見たり聞いたりする
- 11 隣近所との交流が少ない
- 12 世代間の交流が少ない
- 13 地域の活動が不活発である
- 14 地域の中で気軽に集まれる場が少ない
- 15 地域から孤立している人がいる
- 16 障害に関する情報や障害のある人に対する理解が不足している
- 17 健康に対する意識が低い
- 18 福祉保健サービスについて市民に知られていない
- 19 高齢者世帯(一人暮らしなど)やその他支援が必要な方の住まいなどの情報が手に入りにくい
- 20 児童や認知症高齢者などの虐待が疑われる家庭があってもどのように対応したらいいかわからない
- 21 大規模な風水害や地震時の避難と安否確認など、防災対策に不安がある
- 22 生活困窮者※への支援が不十分
- 23 特にない
- 24 その他 ()

※生活困窮者：現に経済的に困難し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者。(生活困窮者自立支援法より)

IV. 今後の活動に向けてうかがいます

問10 身近に困っている人がいるとき、貴団体ではどのような手助けができますか、または、やりたいですか。また、他の団体に期待することはどんなことですか。現在の活動状況に限定せず、できること、やりたいこと、期待することを教えてください。（具体的に記入）

（記入例：声かけ、ゴミだしなどの手助け）

問11 今後、活動団体が増えていく、また継続していくためには、どのようなことが必要と考えますか。（具体的に記入）

問12 地域貢献活動に取り組んでいるボランティア団体やNPO団体で、地域や市民にPRしていくべきだと思う団体はありますか。貴団体が把握している範囲でお答えください。（具体的に記入）

問13 貴団体が活動をしていく上で、市役所・社会福祉協議会に望むことはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）

1 団体や活動についてのPR	2 活動上必要な情報の提供
3 活動場所の提供	4 会員募集の支援
5 リーダーの養成支援	6 経済的支援（活動資金など）
7 他団体とのネットワーク化	8 団体運営上の助言
9 設備・備品の充実	10 成果の発表の場の提供
11 その他（	12 特になし

取組内容と具体的なイメージ	取組状況				期待度					
	取組んでいる	まあまあ取組んでいる	あまり取組んでいない	わからない	期待している	やや期待している	あまり期待していない	期待していない	わからない	
誰もが快適に住み続けられる地域の実現（続き） 地域における見守り、声かけによる安全の確保 ● 高齢者や障害者世帯の見守り支援が行われている ● 子育て家庭の孤立化防止、ひきこもり防止、虐待防止の取組が行われている ● 悩むことを抱えた人が気軽に相談できる場がある ● 消費者被害の防止、地域の防犯活動が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	誰もが役割を持つことができる地域の実現 隣近所や地域の方による福祉活動のきっかけづくり ● 普段のあいさつや声かけが行われている ● 地域の行事へ積極的に参加している ● 地域の活動が活発に行われている ● 障害などの福祉に関する教育や啓発が行われている 地域福祉活動の担い手の育成 ● みんなが気軽に取組める健康づくりの活動やイベントが行われている ● 地域の活動やボランティア活動についての情報が提供されている ● 地域の活動や健康づくり、ボランティア活動などに関わる人が増えている	1	2	3	4	5	1	2	3	4
活動団体への支援 ● 高齢者や障害者、子育て中の人などが、生きがいや仲間づくりに気軽に集まれる場や機会がある ● 気軽に集まれる場や機会の情報が提供されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

V. 新型コロナウイルス問題についてうかがいます

問14 新型コロナウイルス問題の発生に関連して、貴団体の活動中に起こった問題や課題はありますか。それはどんなことですか。ご自由にお書きください。

--

問15 新型コロナウイルスの問題の発生に関連して、貴団体の活動中に、困った人を見たり聞いたりしましたか。それはどんな人ですか。ご自由にお書きください。

--

問16 新型コロナウイルス問題の発生に関連して、行政に協力してほしいことや提案したいことがありますか。ご自由にお書きください。

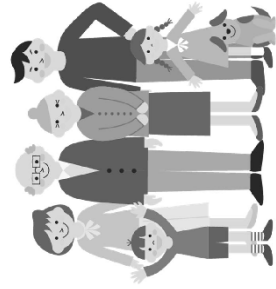
--

自由記述

誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

--

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。



4. 民生委員・児童委員

I. 担当地区についてうかがいます

問1 あなたが民生委員・児童委員として担当している地区は次のうちどこに含まれますか。(ひとつだけ○)

1 上尾東	2 上尾西	3 上尾南	4 平方
5 原市北	6 原市南	7 大石東	8 大石西
9 上平	10 大谷		

問2 あなたの民生委員・児童委員としての在任・経験年数はどれくらいですか。(ひとつだけ○)

1 3年未満	2 3年～5年
3 6年～8年	4 9年以上

II. 民生委員・児童委員の活動についてうかがいます

問3 あなたは民生委員・児童委員の活動のやりがいについてどう思いますか。また、どのようなときにやりがいを感じますか。(ひとつだけ○)

1 やりがいがあると思う	2 やや、やりがいがあると思う
3 どちらともいえない	4 やりがいがあるとは思えない

令和2年 10月

上尾市・上尾市社会福祉協議会

ご記入にあたってのお願い

- 調査票には、お名前・ご住所のご記入は必要ありません。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、「その他」を回答した場合には、具体的にその内容をご記入ください。
- なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、お答えいただいた方にご迷惑をおかけするようないことは一切ございません。思いのままをお答えいただけますようお願い申し上げます。
- ご記入いただいた調査票は、11月の各地区定例会にてご提出いただくか、11月13日(金)までに、福祉総務課または社会福祉協議会へ直接提出してください。ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

上尾市役所 健康福祉部 福祉総務課 電話：048-775-5118 (直通)

第3次上尾市地域福祉計画 及び 第6次上尾市地域福祉活動計画 策定のための民生委員・児童委員アンケート ご協力をお願いします

民生委員・児童委員の皆様には日ごろから地域福祉の向上にご協力いただき、ありがとうございます。

上尾市及び上尾市社会福祉協議会では、誰もがつながりがあり安心して暮らせるまちづくりのため、市民、関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりを推進するため「第3次上尾市地域福祉計画」及び「第6次上尾市地域福祉活動計画」を策定します。「地域福祉計画」は地域福祉を推進していくための理念や仕組みをつくる計画であり、また、「地域福祉活動計画」は、より具体的な地域福祉活動の内容を位置付ける計画です。市と社会福祉協議会が一体となって2つの計画を合同で策定し、上尾市の地域福祉を推進します。

このアンケートは、上尾市内において活動する民生委員・児童委員の方を対象に、活動の状況や地域の課題を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画を策定するための基礎資料として実施するものです。

また、このアンケートに際しましてはプライバシーの保護に万全を期しておりますので、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

問5 民生委員・児童委員活動のなかで、大変・困難だと感じることが、どんなことですか。(5つまで○)

1	相手となかなか会えない(時間が合わない)
2	訪問しても会ってもらえない
3	家庭のことを話してくれない
4	プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う
5	責任の重い見守りを依頼される
6	怖い思いをしたことがある
7	本人の情報を持つ公的機関や関係者から情報を提供してもらえない
8	持っている個人情報を守秘義務のない人に知らせてよいか迷うことがある
9	担当地区で孤立死や、消費者被害などの事件が起らないか心配になる
10	地域の中で本当に支援を必要としている人が支援を受けることができていると感じることがある
11	どこに相談していいかわからないことが多い
12	困ったときに行政職員が対応してくれない
13	自治会・町内会・区会の行事などの参加の負担が大きい
14	受け持ちの世帯数が多すぎる
15	相談件数が多すぎる
16	配布物や調査など、行政や社協からの協力依頼事項が多すぎる
17	なり手が不足している
18	特にない
19	その他()

問6 上尾市社会福祉協議会の13支部で実施している「あったか見守りサービス事業」は、地域の中で浸透してきていると思いますか。(ひとつだけ○)

1	浸透してきている	2	徐々に浸透してきていると思う
3	どちらともいえない	4	あまり浸透していません
5	浸透していません	6	わからない

※問6で「4」または「5」を選んだ方にうかがいます

問7 十分浸透していないと思う理由は何ですか。また、どのようにしていけば浸透すると思いますか。(具体的に記入ください)

「あったか見守りサービス事業とは…
見守り協力員が、在宅の高齢者などに対して、訪問などによる安否確認と日常生活の支援を行い、地域で安心して生活することができるための支え合いの事業です。」

問8 現在、担当地区で見守り活動を展開していく上で、お互いに協力・連携している団体・組織はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1	市役所	2	社会福祉協議会	3	自治会・町内会・区会
4	地域包括支援センター	5	子ども会	6	当事者団体*
7	保育所(園)・幼稚園	8	小学校・中学校・高校	9	大学・専門学校
10	PTA	11	NPO・ボランティアグループ	12	いきいきクラブ
13	商店会・商店街	14	介護・福祉施設	15	医療機関
16	保健所	17	警察・消防	18	弁護士・司法書士
19	企業	20	商工会	21	その他()

※地域の中には、高齢者、障害者、子ども、子育て中の方など様々な人が暮らしており、それぞれに悩みごとなどを抱えている方がいます。当事者団体は、同じ悩みや問題などを持つ人が集まり、課題解決のための活動や、交流や親睦を深めるための組織のことです。

問9 今後、担当地区において、お互いに協力・連携して地域の見守り活動を進めた方がよいと思う団体・組織はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1	市役所	2	社会福祉協議会	3	自治会・町内会・区会
4	地域包括支援センター	5	子ども会	6	当事者団体
7	保育所(園)・幼稚園	8	小学校・中学校・高校	9	大学・専門学校
10	PTA	11	NPO・ボランティアグループ	12	いきいきクラブ
13	商店会・商店街	14	介護・福祉施設	15	医療機関
16	保健所	17	警察・消防	18	弁護士・司法書士
19	企業	20	商工会	21	その他()

※すでに協力・連携している団体・組織にも○をつけてください。

Ⅲ. 地域の課題についてうかがいます

問10 活動を通じて感じる、地域の問題点や課題はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|--|
| 1 | あいさつをしない人が多い |
| 2 | 緊急時、災害時の対応体制がわからない |
| 3 | 犯罪の増加 |
| 4 | 交通マナーの乱れ |
| 5 | ごみ出しやごみ捨てマナーの乱れ |
| 6 | 地域での子どもの見守りがされていない |
| 7 | 地域での高齢者の見守りがされていない |
| 8 | 子育てに悩んでいる人がいる |
| 9 | 困っていることを相談できない人がいる |
| 10 | 子どもや高齢者、障害者に対する虐待を見たり聞いたりする |
| 11 | 隣近所との交流が少ない |
| 12 | 世代間の交流が少ない |
| 13 | 地域の活動が不活発である |
| 14 | 地域の中で気軽に集まれる場が少ない |
| 15 | 地域から孤立している人がいる |
| 16 | 障音に関する情報や障音のある人に対する理解が不足している |
| 17 | 健康に対する意識が低い |
| 18 | 福祉保健サービスについて市民に知られていない |
| 19 | 高齢者世帯（一人暮らしなど）やその他支援が必要な方の住まいなどの情報が手に入りにくい |
| 20 | 児童や認知症高齢者などの虐待が疑われる家庭があってもどのように対応したらいいかわからない |
| 21 | 大規模な風水害や地震時の避難と安否確認など、防災対策に不安がある |
| 22 | 生活困窮者※への支援が不十分 |
| 23 | 特になし |
| 24 | その他 () |

※生活困窮者：親に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなっている者。(生活困窮者自立支援法より)

問11 あなたは、地域での支え合いや孤獨死・孤立死の防止などのために、自治会・町内会・区会を単位とした支援者が必要な個人情報を活用する方法をどのように考えますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---|---------------|
| 1 | 積極的に共有すべき |
| 2 | 必要であれば共有してもよい |
| 3 | あまり共有したくない |
| 4 | 一切共有すべきではない |
| 5 | わからない |
| 6 | その他 () |

問12 すべての市民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、どのようなことが必要だと考えますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----|--------------------|
| 1 | 必要な情報を入力できる体制の整備 |
| 2 | 日常生活に関する身近な相談窓口の整備 |
| 3 | 地域の人が交流できる場の整備 |
| 4 | ネットワーク作り、見守り体制の整備 |
| 5 | 買い物しやすい環境づくり |
| 6 | バスなどの公共交通手段の整備 |
| 7 | 支援が必要な人への支援 |
| 8 | 自主防災組織などの整備 |
| 9 | 災害時における体制の整備 |
| 10 | 道路や建物のバリアフリー整備 |
| 11 | スポーツや文化教養活動の環境整備 |
| 12 | 公園や緑地などの自然環境の整備 |
| 13 | その他 () |

IV. 上尾市と上尾市社会福祉協議会の取り組みについてうかがいます

問13 地域における取り組みについて、現在の状況と今後の期待度はどれくらいありますか。
(それぞれ○はひとつずつ)

取り組み内容と具体的なイメージ	取り組み状況					期待度				
	取 り 組 ん で い る	ま ま あ ま り 取 り 組 ん で い る	あ ま り 取 り 組 ん で い ない	取 り 組 ん で い ない	わ か ら な い	取 り 組 ん で い る	ま ま あ ま り 取 り 組 ん で い る	あ ま り 取 り 組 ん で い ない	取 り 組 ん で い ない	わ か ら な い
福祉サービスが利用しやすい地域の実現										
福祉サービスの利用支援 ● 必要な福祉サービスが受けられる ● わかりやすい、適切な情報入手できる ● 判断能力が不十分な人でも適切に制度やサービスが利用でき、権利が守られる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
支援をつなぐ仕組みづくり ● 困っている人が気軽に相談できる場がある ● 困ったときの相談窓口が周知されている ● 仕事や生活に困っている人が支援を受けられる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
さまざまな団体などによる支え合いの仕組みづくり ● 市民や団体が参加しやすい、活動しやすい環境がある ● 福祉にかかわる団体が連携して、困っている人を支えている ● 地域のボランティアが増え、育成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
誰もが快適に住み続けられる地域の実現										
誰もが外出しやすい環境づくり ● 誰もが外出しやすい、利用しやすいまちづくりがすすめている ● 市民が利用しやすい公共交通機関が充実している ● 高齢者や障害者の移動支援や外出支援、生活支援が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域における防災機能の強化 ● 防災に関する情報提供が充実している ● 自主防災組織の活動により、地域の防災力向上が図られている ● 防災訓練への参加など、市民意識が醸成されている ● 助けが必要な人が、緊急時に素早く避難できるような連携や体制づくりがすすめられている ● 災害ボランティアが育成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

取り組み内容と具体的なイメージ	取り組み状況					期待度				
	取 り 組 ん で い る	ま ま あ ま り 取 り 組 ん で い る	あ ま り 取 り 組 ん で い ない	取 り 組 ん で い ない	わ か ら な い	取 り 組 ん で い る	ま ま あ ま り 取 り 組 ん で い る	あ ま り 取 り 組 ん で い ない	取 り 組 ん で い ない	わ か ら な い
誰もが快適に住み続けられる地域の実現 (続き)										
地域における見守り、声かけによる安全の確保 ● 高齢者や障害者世帯の見守り支援が行われている ● 子育て家庭の孤立化防止、ひきこもり防止、虐待防止の取り組みが行われている ● 悩みを抱えた人が気軽に相談できる場がある ● 消費者被害の防止、地域の防犯活動が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
誰もが役割を持つことができる地域の実現										
隣近所や地域の力による福祉活動のきっかけづくり ● 普段のあいさつや声かけが行われている ● 地域の行事へ積極的に参加している ● 地域の活動が活発に行われている ● 障害などの福祉に関する教育や啓発が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
地域福祉活動の担い手の育成 ● みんなが気軽に取組める健康づくり活動やイベントが行われている ● 地域の活動やボランティア活動についての情報が提供されている ● 地域の活動や健康づくり、ボランティア活動などに関わる人が増えている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
活動団体への支援 ● 高齢者や障害者、子育て中の人などが、生きがいや仲間づくりに気軽に集まれる場や機会がある ● 気軽に集まれる場や機会の情報が提供されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

V. 新型コロナウイルス問題についてうかがいます

問14 新型コロナウイルス問題の発生に関連して、民生委員・児童委員の活動中に起こった問題や課題はありますか。それはどんなことですか。ご自由にお書きください。

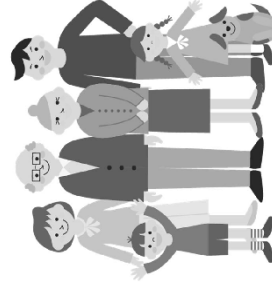
問15 新型コロナウイルスの問題の発生に関連して、民生委員・児童委員の活動中に、困った人を見たり聞いたりしましたが、それはどんな人ですか。ご自由にお書きください。

問16 新型コロナウイルス問題の発生に関連して、行政に協力してほしいことや提案したいことがありますか。ご自由にお書きください。

自由記述

誰もが住みやすいまちづくりを進めていくためのご意見やご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。



第3次上尾市地域福祉計画及び
第6次上尾市地域福祉活動計画策定のための
アンケート調査報告書

令和3年3月

上尾市 健康福祉部 福祉総務課
〒362-8501 埼玉県上尾市本町三丁目1番1号
TEL：048-775-5118（直通）
FAX：048-775-9846
